



新たな価値を創造する 社会システム企業へ

インテックは1月11日、おかげさまで創立50年の節目を迎えました。永年にわたり支えていただいた、お客さまや地域の皆さまに深く感謝申し上げます。

インテックの前身「富山計算センター」は1964年、東京オリピック開催の年に17名で舟出しました。地元の放送局のラジオブースを借りてのスタートであり、まさにベンチャー企業そのものでした。コンピュータ・ユーティリティの理想を掲げ、いち早く通信事業に進出、ソフトウェア開発やコンピュータシステムの運用、システムインテグレーションにも注力し、ネットワークとコンピュータの技術を併せ持つ、業界でもユニークな存在に成長いたしました。

現在のクラウドコンピュータインテグレーションとサービス化の波は、まさにインテックが目指してきたコンピュータ・ユーティリティ社会の到来を告げるものです。

インテックはより豊かで安全な暮らしを実現するため「クラウド」や「ビッグデータ」に積極的に取り組み、高齢化や食の安全、健康、農業そして街づくりなど新たな分野への挑戦を始めています。ネットワークとコンピュータの技術とともに保有し、公共的な分野にも強みを持つインテックだからこそ、社会を支える新たなICTシステムを提案していく知恵と技術を持つと自負しております。

未来をデザインし、企業や産業、社会の新しい価値を創造する「社会システム企業」へと成長し、インテックだからこそできるサービスで皆さまにさらなる満足、感動をお届けできますよう、これからも努力してまいります。

変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社インテック
代表取締役社長
滝澤 光樹

コンピュータ・ユーティリティ

電気やガス、水道のように、いつでも、どこでも、誰もがコンピュータの恩恵を受けられること。